

平成28年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

施設名：ギャラクシティ（足立区こども未来創造館・足立区西新井文化ホール）
 指定管理者：あだち未来創造ネットワーク

1～5 調整得点合計	得点比率	総合評価
882/1000 点	88.2%	A ⁻

得点比率	評価	評価内容
90% 以上	A ⁺	A 当該分野について、良好である。
80% ～ 89%	A ⁻	
70% ～ 79%	B ⁺	B 当該分野について、適正である。
60% ～ 69%	B ⁻	
50% ～ 59%	C ⁺	C 当該分野について、課題がある。
40% ～ 49%	C ⁻	
39% 以下	D	D 当該分野について、至急改善が必要である。

評価分野	評価項目	得点	評価分野合計	得点比率	評価(前年度)	得点調整指数※	調整得点	委員会からの意見
1 管理運営体制	利用者が快適に、安心して過ごせる環境づくりの推進	5/6	12 点 (15 満点)	80%	A ⁻ (A ⁻)	1	80 点	利用者の安全及び快適性について、利用者の視点に立ち、質の高い管理運営を目指した取り組みは高く評価できる。特に、ハード面では館内の案内表示や空調の環境整備などを行い、ソフト面ではスタッフの安全訓練の研修を実施するなどの努力がみられた。今後は、課題でもある利用状況に即応した体制への着手を行い、さらなる高みへの改善に努めてほしい。 多彩な事業を展開する中で大きな問題もなく組織運営を進めており評価できる。特に、接遇面だけではない多様な面から人材育成に取り組み、利用者の意見を事業に反映するなどの努力が見られる点は評価すべき点である。今後は、混雑時や外国人への対応の他、声なき声に気づくなど運用面での努力や、是正策から予防策の実施へとレベルアップを期待する。
	利用者のサービスアップにつながる機能的な組織運営	7/9						
2 子ども体験事業	遊び・創作・科学体験事業他	8/9	16 点 (18 満点)	89%	A ⁻ (B ⁻)	3	267 点	課題である継続性のある事業は、習熟度の高いクラスの編成や卒業生の事業参画を進める工夫がみられ成果も上がっている。さらに、区民先行予約、区民限定や地域課題の解決に取り組む事業などの実施も高く評価できる。今後は、現在のプログラムの時間や定員などの質の検討、施設稼働の平準化に向けた改善を進めること、利用者満足度に偏ることなく学習効果の視点を取り入れることを期待する。 昨年からの一年で様々な分野で活動の成長が見られる点は高く評価できる。特に、「tecpot」のように特定の事業ボランティアが主体となって実施する事業や子ども運営も活動のサイクルが回り始めた印象を持つことから、ギャラクシティらしいボランティア活動が開発されてきたといえる。一方で、リタイアしたシニア層の掘り起こしは十分ではないという印象を持つことから、より一層、区民の運営参画に向けた取り組みを期待する。
	開発事業・ふれあい交流事業	8/9						
3 まるちたいけんドーム活用事業	まるちたいけんドーム活用事業	9/9	9 点 (9 満点)	100%	A ⁺ (A ⁻)	3	300 点	プラネタリウムにとどまることなく、子どもから大人までが学び、楽しめる多種多様なプログラムを実施していることに加え来場者数が連続して増加しており、中規模施設の中で全国1位となっていることは高く評価できる。今後も最新の情報を伝えるために職員の知識の更新やさらなるスキルアップに期待したい。昨年度の課題であった「星空観察の学習」については、アタカマの星空映像の活用や投影時間延長に伴う解説の見直しなどで改善が見られる。また、異なる世代への継続プログラムの展開についても、中高生の天文部だけではなく区内大学の学生と連携しワークショップを実施するなどの努力が認められる。今後は、来場者に最新の天文学や科学情報を伝えていき、区民と先端科学を結びつける入口・橋渡しとしての役割を担う施設となっていくことを期待する。

平成28年度事業 足立区ギャラクシティ運営評価委員会評価書

評価分野	評価項目	得点	評価分野合計	得点比率	評価(前年度)	得点調整指数※	調整得点	委員会からの意見
4 文化事業	豊かな文化芸術に触れる機会の提供	9/12	16点 (21満点)	76%	B ⁺ (A ⁻)	2	152点	<p>来場者のニーズに合わせた多様なプログラムが展開され、特に若者向けのコンテンツを実施し、多くの集客を得たことは高く評価できる。一方、集客率の低い事業もある。これらについては、その要因を分析し、より魅力ある事業展開を期待する。また、0歳から参加できるコンサートや中高生の参加を促すワークショップなどが積極的に実施され、子ども達が文化に触れる機会を創出するという意味での成果は上がっている。今後は、ギャラクシティの特色を活かしたオリジナリティの高い企画を実施するなど、創造機能を持った施設を目指してほしい。</p> <p>ホールで活動する文化団体に助言、研修を行い、積極的に支援を行っている点は、評価できる。また、区民との協働事業については、区民参加型の事業やワークショップを実施するなどの努力は認められるが、今後はもう一步踏み込み、区内文化団体との共同企画の実施など区民が主体となる事業をより積極的に実施してほしい。文化交流の場の創出については、催事の情報発信以外は積極性が感じられない。足立区内の文化資源を発掘し、西新井文化ホールが足立区の文化交流の場となるよう取り組んでほしい。</p>
	区民との協働による文化活動の振興	7/9						
5 広報事業	利用者のニーズにあわせた取り組みと提案書の遂行	5/6	5点 (6満点)	83%	A ⁻ (B ⁻)	1	83点	<p>昨年度の課題であった区民利用率について、駅やバスを利用した交通広告による有効な情報発信によってポイントが上昇したことについては、高く評価できる。今後はさらに区民利用率の高い、平日の来場者数の上昇に繋げていくことを期待する。また、広報誌の内容についても、足立区内や近隣地域及び小学生の視点を意識した紙面作りを行ったことは評価できるが、掲載内容の誤りはあってはならず、今後チェック体制の強化が必要である。</p> <p>広報活動の1つとして新たに実施した「ぎゃらくみんライター」のような区民参加型の広報活動は、区民参加を促す方法として高く評価できる。今後はこのような広報活動をとおしてギャラクシティに対する区民の認知度を高めていくことを期待する。</p>

※得点調整指数については、足立区ギャラクシティ運営評価委員会において、「2 子ども体験事業」及び「3 まるちたいけんドーム事業」をメイン事業と位置付けて得点調整指数を高く設定し、「1 管理運営体制」及び「5 広報事業」については、メイン事業のバックアップ事業との位置付けから指数を「1」と設定しております。